

みどりとともに

大瀧 典夫 会長筆

第 2 号

2001年1月1日

社団法人 茨城県治山林道協会



目次

新年明けましておめでとうございます。
21世紀がスタートしました。21世紀が素晴らしい世紀になることを期待し、緑豊かで潤いのある、安心して生活できる県土づくりを進めてまいりましょう。

新年のごあいさつ	2
林政審議会が新たな林政方向を提言	3
森林の公益的機能の評価額を試算すると	4・5
2000年全国治山林道大会及び コンクール表彰式盛大に開催される	5
木材を利用した治山・林道事業	6
平成12年度森林土木事業研修会から 町から村から（大子町、波崎町）	6 7
大瀧会長、日本林道協会理事に就任	8
平成12年度林道維持コンクール入賞路線 協会の動き	8 8

新年のごあいさつ

会長 大瀧 典夫



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年の森林に対する国民の要請は、地球温暖化防止等環境保全や国土の保全、水資源のかん養、保健・文化・教育的利用など公益的機能を中心に多様化・高度化してきております。

このため、木材生産のみならず公益的機能も重視し、多様な機能の発揮のための森林の整備が強く求められてきております。

緑豊かな国土は、私どもの生活に潤いと安心を与えてくれる貴重な財産です。

私どもといたしましても、再生産可能で環境に

やさしい森林の整備、木材資源の循環的利用を計画的に推進するため、21世紀における森林整備の基本ともいべき「資源循環型特別枠」予算の創設に向けて積極的に取り組んでいかねばと考えているところでございます。

会員各員のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

西暦2001年、新しい年が希望に満ちた21世紀のスタートの年となりますことを期待して新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 田村 輝 穂



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

21世紀は、地球温暖化等の環境問題を解決するため、循環型社会の構築が重要な課題となっております。

なかでも、森林・林業に対する期待は大きく、二酸化炭素の吸収源・貯蔵庫として森林の活力を生かす時代と言われております。

このためには、間伐等の森林整備を促進するとともに環境に対する負荷が少ないという特徴をもっている木材の積極的利用を推進し「森林の持続的な資源循環」を図る必要があります。

また、森林の管理や林業の振興のためには、山村の活性化が不可欠であり、積極的に生産基盤や

生活環境の整備を推進いたしますので、関係者の方より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、21世紀の幕開けである西暦2001年という記念すべき年が皆様方にとってすばらしい年となりますよう、心から祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。



林政審議会が新たな林政の展開方向を提言

— 公益的機能中心に —

茨城県林政課

林政審議会（会長佐々木恵彦、橋本昌茨城県知事は平成12年3月に委員就任）は、平成12年10月11日、「新たな林政の展開方向」をまとめ、農林水産大臣に報告しました。

同報告では、21世紀を展望した林政の目指すべき方向を明確に示すため、基本政策の具体的な展開方向について論じています。特に昭和39年に制定された林業基本法については、林業を取り巻く情勢の変化等を踏まえこれを見直し、政策全般を国民の視点に立って再構築すべきと提言しています。

以下、林政審議会報告のポイントについて紹介します。

【政策転換の方向】

政策の主たる目的を木材生産主体から、将来にわたり森林の多様な機能を持続的に発揮できるように森林整備を目指すことに転換し、林業経営意欲を有する者が森林所有者から受託等によって森林の管理や経営ができるようにすべきだと提言しています。

また、木材産業については、資

源循環型社会の構築に貢献できる産業として位置付け、売れる国産材づくりに取り組むよう促す必要があるとするほか、山村のあり方についても、山村社会が森林の管理や林業の振興に不可欠なものであるとの視点から、農業政策や関係省庁の施策と連携しながら山村の振興を推進すべきだとしています。

【新たな林政の具体的方向】

森林を適切に管理する手法として、ゾーニング手法（機能区分）を導入すべきだと提言しており、市町村森林整備計画においてゾーニングを実施し、定期的に見直すことが必要だとしている点が注目されます。

また、森林所有者には森林を適正に管理する責務があることを明確にすべきだとして、社会的責任に言及したことも注目されます。

さらに、森林の公益的機能を発揮するための社会的なコストの負担については、環境税や地方自治体の法定外目的税なども視野に入

れコスト負担のあり方を検討する

必要があるとしています。

林業・木材産業の振興の方向についても言及しており、林業においては、林家、森林組合、素材生産業者などの中から、安定的・効率的に施業と経営が行える者を育成すべきであり、木材産業については、乾燥材供給体制の早期整備、高次加工の推進、共同出荷体制の整備や製品物流の効率化などの必要性を提言しています。

このほか、山村地域の活性化として農業で導入されている直接支払制度については、造林・間伐などの林業生産活動そのものを助成する措置がすでにあることから、視点を変えた新たな支援策の必要性を指摘しています。

【基本法等の改正に向けて】

林野庁では、これらの提言を受け、本年末に政策大綱等を取りまとめ、次期通常国会で森林・林業基本法（仮称）の制定や、森林法など関係法の改正を目指しています。

（計画担当課長補佐 野村和弘）

森林の公益的機能の評価額を試算すると

全国で74兆9,900億円、本県では6,346億円と算出

茨城県林政課

森林は、木材の生産のほか、水源のかん養、土砂流出の防止、大気の保全など、様々な公益的機能を有しています。こうした森林の持っている公益的機能の重要性は皆さんに広く知られていますが、その価値が具体的にどの程度かと問われると、なかなか実感できないものです。

そうしたことから、本県の森林の公益的機能について皆さんにわかりやすく説明し、森林とそれを支える林業の重要性について理解を深めていただくために、森林の公益的機能の評価額を試算したところでは、

林野庁においては、これまでに、我が国の森林の公益的機能の評価額を、昭和47年に年間12兆8,200億円、平成3年に39兆2,000億円（昭和47年評価額を物価スライド

により時点修正）とする試算結果を公表した経緯があります（表1参照）。

今回、林野庁では、学識経験者の意見を聞きながら、評価項目の追加や、算出方法の改善、算出に用いるデータの修正を行うなど見直し作業を進めてきましたが、新たに洪水防止、水質浄化、二酸化炭素吸収の三つの機能を評価対象に加えることなどにより、我が国の森林の公益的機能の現時点における価値を74兆9,900億円と試算し、公表したところです。

茨城県においては、林野庁と同様の評価手法により、本県の森林の公益的機能の評価額を、昭和47年に1,227億円、平成3年に3,109億円と試算してきましたが、今回、林野庁が報告した評価方法等に基づき、本県の森林の価値を改めて

試算したところ、6,346億円となりました（表2参照）。

なお、潮風害防止機能（年間320億円）については、海岸線（約180km）に沿って森林が存在し、耕地等を飛砂や潮風害から守る重要な役割を果たしているため、本県独自に算出しております。

森林には、今回の評価項目以外にも、例えば、気象の緩和、騒音の防止、良好な景観の形成などの機能があり、それぞれの機能をより明確にしていくことが課題となっております。

今後、森林の有する機能を最大限に発揮させるために、皆様のご協力を頂きながら、間伐等の森林整備を積極的に推進するなどして、健全な森林の育成に努めてまいりたいと思います。

（主任 寺崎 正孝）

（単位：億円）

表1 森林の公益的機能の評価額（評価時点別）

区 分	昭和47年		平成3年		平成12年	
	全 国	茨城県（S48）	全 国	茨城県	全 国	茨城県
水 源 か ん 養 機 能	16,100	133	42,600	270	271,200	1,948
土 砂 流 出 防 止 機 能	22,700	286	79,800	820	282,600	2,409
土 砂 崩 壊 防 止 機 能	500	5	1,800	16	84,400	655
保 健 休 養 機 能	22,500	77	76,700	295	22,500	293
野 生 鳥 獣 保 護 機 能	17,700	221	6,900	556	37,800	295
大 気 保 全 機 能	48,700	413	184,200	832	51,400	426
潮 風 害 防 止 機 能	—	92	—	320	—	320
合 計	128,200	1,227	392,000	3,109	749,900	6,346

表2 茨城県の森林の公益的機能の評価額（平成12年評価額）

機能の種類	茨 城 県	算 出 根 拠	全 国
水源かん養機能	降水の貯留 627億円	①降水貯留機能：森林土壤中に降水を貯え、徐々に流出させる機能を、利水ダム（上水道）の維持費及び減価償却費として算出。	8兆7,400億円
	洪水の防止 401億円	②洪水防止機能：森林土壤が降水時の直接流出量を軽減し、豪雨時のピーク流量を低下させる機能を、治水ダムの維持費及び減価償却費として算出。	5兆5,700億円
	水質の浄化 920億円	③水質浄化機能：森林土壤が雨水中の不純物を吸着し、水質を浄化させる機能を、雨水利用施設（雨水を水道水程度に浄化させる施設）の維持費及び減価償却費として算出。	12兆8,100億円
	計 1,948億円		計 27兆1,200億円
土砂流出防止機能	2,409億円	地表面の浸食を抑制する機能を、砂防ダムを建設し維持させた場合の費用として算出。	28兆2,600億円
土砂崩壊防止機能	655億円	地表面の浸食から生じる崩壊を防止する機能を、治山事業の山腹工事に要する費用として算出。	8兆4,400億円
保健休養機能	293億円	登山、ハイキング、キャンプ等で余暇を過ごす場としての機能を、森林を楽しむことを目的とした旅行に要する費用として算出。	2兆2,500億円
野生鳥獣保護機能	295億円	鳥類の生息の場として果たしている機能を、鳥類を人工的に飼育した場合の餌代として算出。	3兆7,800億円
大気保全機能	二酸化炭素吸収 96億円	①二酸化炭素吸収：森林の二酸化炭素を吸収する機能を、火力発電所における二酸化炭素回収コストとして算出。	1兆2,400億円
	酸素供給 330億円	②酸素供給：森林の酸素を供給する機能を、タンクローリーによる酸素取引価格（運搬引渡）として算出（酸素製造原価に近似）。	3兆9,000億円
	計 426億円		計 5兆1,400億円
潮風害防止機能	320億円	海岸防災林がない場合、耕地が潮風害によってどれくらい農業粗生産額の低下をきたすかを算出。（本県独自の評価）	
合 計	6,346億円		74兆9,900億円

注）森林の公益的機能の評価額に係る林野庁計画課試算（平成12年）に基づき、本県の因子を当てはめて試算したものです。

2000年全国治山林道大会及びコンクール表彰式盛大に開催される

平成12年11月9日（木）、東京・イイノホールで全国から多数の参加のもとに開催され、平成13年度の予算編成に向けて

1. 資源循環型特別枠の創設
2. 平成13年度林野公共予算に係る特別枠の確保
3. 治山、林道新規施策の実現

の3項目を万場一致で採択し、県選出国会議員等へ陳情活動を行った。

また、同時に平成12年コンクールの表彰式が行われ、林道維持管理コンクールの部で**大子町・八溝線**が**林野庁長官賞**を受賞されました。日頃の活動に敬意を表する次第です。

木材を利用した治山林道工事について

茨城県林業課

環境と調和した循環型社会の構築という観点から、森林土木事業において、森林から生産される木材をその特質に留意しながら木製構造物として積極的に活用していくことが求められています。

森林土木事業における木製構造物の標準歩掛としては、木製ブロック積工、丸太積土留工、木樁工、丸太法枠工、丸太筋工、丸太防風柵工など20工種暫定施工歩掛80工種が定められていますが、県では新たに間伐材利用指針を策定し、本県の間伐材による木製構造物設計基準として、

- (1) 流水が少なく、土石流等のおそれのない小溪流に設置するダム工、護岸工、流路工等
- (2) 背面土圧の小さな土留工、擁壁等
- (3) 柵工、筋工、軽量のり枠工等の緑化基礎工、のり面保護工等



木製ブロック積工（新治村）



防風柵工（鹿嶋市）

- (4) 海岸防災林造成における防風垣等
- (5) 土中に設置する基礎杭、埋設工、水中に設置する簡易な工作物等
- (6) のり尻の保護等土圧が極めて小さい箇所
- (7) 工事用の仮設防護柵、応急復旧工事
- (8) 道路の横断排水工等簡易な構造物
- (9) 落石衝撃工等木材の特性を生かしたもの
- (10) 標識類、化粧材、木歩道等景観、環境保全上木材の使用が望まれるもの

など治山・林道の各工種ごとの適用基準と工法を示し、本年度以降の一層の木製構造物の使用拡大・普及を図ることとしています。21世紀の社会において期待される役割を最大限に発揮する活力ある森林を維持していくため、森林土木事業における森林の整備についてご支援・ご協力をお願いいたします。

(治山林道担当：係長 鴨志田憲一)

平成12年度 森林土木事業研修会から

標記研修会は、平成12年10月16日（月）、茨城県、茨城県林業土木事業協同組合及び当協会の三者共催で、水戸サンシャイン常陽で開催された。

研修会では、茨城労働局安全衛生課長 遠藤富士雄氏の「森林土木事業における労働災害防止」及び県林政課首席検査監 林恵二氏の「森林土木事業における現場の施工管理」について講演が行なわれ、土木事業協同組合員や県、市町村等の職員など約200名の関係者が熱心に耳を傾け、改め



主催者あいさつする大瀧会長

て、森林土木事業の現場での安全管理や施工管理の大切さを再認識していました。

町から村から

大子町

新たな観光拠点としての森林公園づくり

大子町は、面積の80%が八溝山系、阿武隈山系からなる起伏に富んだ自然景観を擁する山岳地であり、名瀑袋田の滝や奇岩が露出する男体山等数多くの名勝地と相まって奥久慈温泉郷として知られ、町営の「森林の温泉」、「フォレスパ大子」等の施設も整備され、年間150万人の観光客が訪れています。



大子町の花 チャの花

また、温泉入浴施設を持つオートキャンプ場が県土木部の発注により建設中ですが、その計画にあわせて隣接森林（町有林）9haに林業地域総合整備事業のフォレストアメニティ施設整備による森林公園を本年度から3ヶ年の計画で整備します。

本計画では、「キャンプ場」と「森林の温泉」の独立した施設を一体的に利用できるように間伐材を利用した遊歩道や四阿、林間広場を整備し、景観向上のため植栽や育成天然林整備も合わせて行う予定です。

これらの計画により新たな観光拠点が整備され、地域及び都市住民の保健休養の場として有効利用されることにより町の活性化が図られると期待しています。

波崎町

わが町の飛砂防備保安林

波崎町に入りますとすぐに松林が目に入りますが、この地域が砂質土壌のため飛砂防止に松が植林され、現在では町の木として指定されています。

特に、海岸線沿い約20kmに渡りグリーンベルト状に存在する松林は、先人達が海からの強風による住宅や農作物に砂が進入するのを防ぐ目的で強風や塩害に強い松を植林した飛砂防備林であります。

この保安林は、海岸砂丘の保護や沿岸住民の生活には非常に重要な役割を果たしております。しかし、



波崎町の花 センリョウ



飛砂防備保安林

近年松くい虫による松枯れ被害が多発し、保安林にも被害が拡大し地域住民にとっては大きな問題となっております。

このようなことから町では、保護すべき松林として海岸線沿いに存在する保安林を対象に松くい虫被害から松を守るべく薬剤散布や伐倒駆除等を行い保護に努めています。

また、一昨年この海岸沿いに、海からの風を利用した風力発電用の風車がお目見えし、家族連れや若いカップルのデートコースになっています。

大瀧会長、日本林道協会理事に就任

平成12年11月9日(木)東京・全共連ビルで開催された平成12年度日本林道協会総会において、大瀧典夫会長が理事に選任されました。今後のご活躍を期待しております。

平成12年度林道維持管理コンクール入賞路線

茨城県知事賞 大子町 八溝線
茨城県農林水産部長賞 岩瀬町 富谷入野線
茨城県治山林道協会賞 里美村 生田入支線

【協会の動き】

- ▲ 6月16日(金)
資源循環型特別枠の創設について県へ陳情
大津常務他3名
- ▲ 8月1日(火)
工事コンクール等審査会(水戸市)
大津常務 他4名出席
- 8月3日(木)
(社)日本治山治水協会理事会・総会(東京都)
治山林道の集い
大瀧会長・大津常務 他3名出席
- 8月9日(水)
(社)茨城県林業協会連絡会議(水戸市)
大津常務出席
- 8月20日(日)
林業体験<下草刈り>(石岡市)
岡野主任・藤田(隆)技師出席
- 8月27日(日)
林業体験<下草刈り>(那珂町)
藤田(喜)主任・岩間技師出席
- 8月30日(水)
自民党政務調査会「農林水産部会」
大津常務出席(水戸市)
- ▲ 9月12日(火)
公益法人協会茨城地区9月期公益法人定例講座
大森係長出席(水戸市)
- 9月17日(日)
第24回全国育樹祭(福島県)
大瀧会長出席
- 9月21日(木)
公益法人協会9月期公益法人定例講座
大森係長出席(東京都)
- 9月27日(水)~28日(木)
全国治山林道協会専従役職員会議(福島県)
大津常務・大森係長出席
- ▲ 10月4日(水)~6日(金)
都道府県森林土木コンサルタント
連絡協議会治山林道技術現地研修会
藤田(喜)主任出席(大分県)
- 10月6日(金)
治山林道事業担当者会議(水戸市)
堀江補佐・菊池係長出席
- 10月6日(金)
建設省・「測量業者更新登録申請書」提出
- 10月12日(木)
全国治山林道協会会長会議(東京都)
大津常務出席
- 10月16日(月)
森林土木事業研修会開催(水戸市)
大瀧会長・大津常務他8名出席
- 10月17日(火)

- (社)茨城県林業協会幹事会(水戸市)
大津常務出席
- 10月17日(火)
第36回林道研究発表会(東京都)
生田目係長出席
- 10月24日(火)~25日(水)
市町村担当課長等研修会開催(神奈川県)
大津常務他4名出席
- 10月27日(金)
中央協会公益事業検討委員会(東京都)
大津常務出席
- 10月31日(火)~11月1日(水)
関東甲信地区常勤役職員会議(埼玉県)
大津常務・大森係長出席
- ▲ 11月3日(金)
グリーンフェスティバル2000(那珂町)
大瀧会長・大津常務・大森係長出席
- 11月6日(月)~7日(火)
農林水産振興協議会県外視察(山形県)
堀江補佐出席
- 11月9日(木)
日本林道協会総会(東京都)
2000年治山林道大会・コンクール表彰式
大瀧会長・大津常務他3名出席
- 11月9日(木)~11日(土)
治山フォーラム(長崎県)
岩間技師出席
- 11月14日(火)~15日(水)
北関東治山林道協会連絡会議(十王町)
大津常務他5名出席
- 11月19日(日)
林業体験<枝打ち>(里美村)
堀江補佐・生田目係長・岩間技師出席
- 11月27日(月)
年末調整説明会(水戸市)
栗橋主事出席
- ▲ 12月15日(金)
平成13年度林野公共予算対策本部設置
大津常務・大森係長出席(東京都)

みどりとともに・編集発行

社団法人 茨城県治山林道協会
水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3F
TEL 029-225-7280
FAX 029-225-7582
(年2回発行)